

フクシマ連帯キャラバン報告書

全港湾東北地方小名浜支部 大谷佳輝

私は今回4日間あるうちの前半の2日間に参加してきました。今回私は初めての参加で講師として参加しました。まず広野町から浪江町まで移動しながら各町の説明をしてきました。その後浪江町の津島地区にある津島公民館に行きました。そこでは、原告団の方に当時の震災後のままの家を見学させてもらいました。家具などいろんな物が散乱し倒れており他にも野生動物が出入りしていたり床などが抜けており人が住めるようにはならないと思いました。

その後津島公民館に戻り原告団の方に当時のお話をしてもらいました。私も避難した側ではありますが家があるのに帰れない、住めないって考えるととても悲しい思いになりました。その後伝承館見学に行きました。当時の私にはわからない原発事故はどのようにして起きたのか、汚染水などの浄化の仕方などを見て改めて原発事故の怖さを知りました。

私は今回キャラバンに参加してテレビやメディアでは復興しているなどと報道していますが現地で直接目で見て、肌で感じて見ると復興しているところはしている、復興できてないところはできてないその差が大きいと感じました。キャラバンを通して私達世代が他の友達や親などたくさんの方々に原発事故の恐ろしさなどを伝えていきたいと思いました。原発事故の風化して行く中キャラバンのような実行して伝えて行くことが大事だと思いました。これからもキャラバンに参加し、被災地や被災者の復興に繋がられるよう、原発ゼロを目指して頑張っていきたいと思います。